

II 畜産物の価格安定業務

1 指定乳製品

(1) 概況

ア 乳用牛の飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は、昭和 38 年の 41 万 7,600 戸をピークに、その後毎年減少し、平成 18 年 2 月 1 日現在では前年に比べて 4.0%減の 26.6 千戸となっている。近年における戸数の減少は、経営者の高齢化、後継者不足等に加え、酪農情勢における厳しさが増す中で、小規模層を中心に、離農するケースが増えたことが主因と考えられる。

次に、飼養頭数についてみると、飼養戸数の減少を反映して、前年に比べて 1.2%減の 163 万 5 千頭となった。なお、飼養戸数の減少と規模拡大傾向を反映して、1 戸当たりの飼養頭数は、前年の 59.7 頭から 61.5 頭へと拡大した（第 5 表参照）。

第 5 表 乳用牛の飼養戸数・飼養頭数

区 分 調査年月日	飼 養 戸 数		飼 養 頭 数		1 戸当たりの飼養頭数	
	戸 数 (千戸)	対前年比 (%)	頭 数 (千頭)	対前年比 (%)	頭 数 (頭)	対前年比 (%)
17. 2. 1	27.7	96.2	1,655	97.9	59.7	101.7
18. 2. 1	26.6	96.0	1,635	98.8	61.5	103.0

資料：農林水産省「畜産統計」

イ 生乳の需給

17 年度の生乳生産は、北海道が前年をわずかに上回り、都府県は前年をわずかに下回ったため、前年度比 100.1%と、前年度をわずかに上回った。

次に、牛乳等向け生乳処理量についてみると、大部分を占める牛乳の生産が年度を通じて不調であったことから、同 96.6%と前年度をやや下回った（第 6 表参照）。

なお、生産者団体が実施している計画生産については、17 年度においては、16 年度の計画生産実績数量比で 96.2%とする計画が決定され、772 万 0 千トンの計画生産目標数量（17 年度の最終供給目標数量）が設定された。当該計画生産目標数量に対する生乳生産の実績は、北海道は同目標数量比 96.3%と下回ったが、都府県では同 100.7%と上回った。こうしたことから、17 年度の最終実績数量は全国計で 761 万 6 千トン（対計画生産目標数量比で 98.6%）と目標数量を 10 万 4 千トンほど下回った。

第6表 生乳生産と用途別処理量

(単位：千ト、%)

区分 年度	生乳生産量		処 理 内 訳					
			牛乳等向け		乳製品向け		その他向け	
	数 量	対前年比	数 量	対前年比	数 量	対前年度比	数 量	対前年度比
13	8,312	98.8	4,903	98.0	3,317	100.3	92	88.4
14	8,380	100.8	5,046	102.9	3,245	97.9	89	96.2
15	8,405	100.3	5,018	99.4	3,301	101.7	85	96.4
16	8,285	98.6	4,902	97.7	3,301	100.0	81	95.3
17	8,292	100.1	4,738	96.6	3,472	105.2	82	100.5

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

ウ 指定乳製品の生産量

17年度のバターの生産量は、前年度比106.1%とかなりの程度上回り、脱脂粉乳の生産量も同103.9%とわずかに上回った。また、全脂加糖れん乳は同91.6%とかなりの程度下回り、脱脂加糖れん乳は同113.3%とかなり大きく上回った。

第7表 指定乳製品の生産量

(単位：ト、%)

区分 年度	バター		脱脂粉乳		全脂加糖れん乳		脱脂加糖れん乳	
	数 量	対前年 度比	数 量	対前年 度比	数 量	対前年 度比	数 量	対前年 度比
13	83,172	104.1	177,855	96.3	31,899	93.0	5,806	118.5
14	79,598	95.7	178,905	100.6	31,911	100.0	5,395	92.9
15	81,566	102.5	184,372	103.1	33,106	103.7	6,047	112.1
16	80,555	98.8	182,656	99.1	35,253	106.5	5,933	98.1
17	85,468	106.1	189,733	103.9	32,276	91.6	6,723	113.3

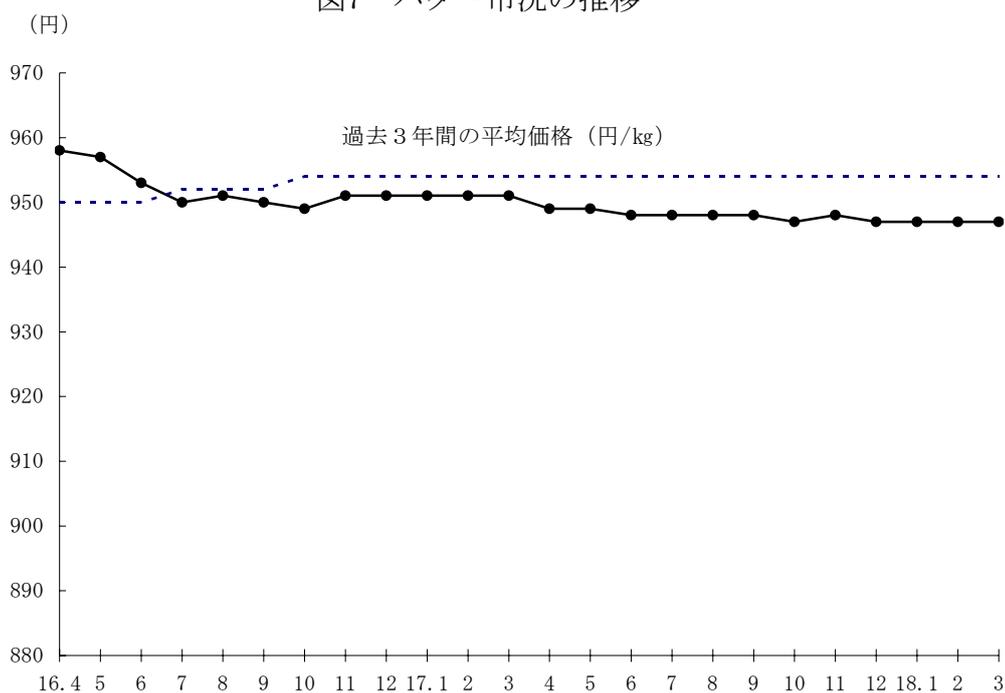
資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

エ 指定乳製品の価格動向

バターの市況（大口需要者向け価格：農林水産省牛乳乳製品課調べ、以下同じ）は、需給の緩和を背景として、年度を通じて緩やかな低下傾向で推移し、年度末においては947円/kg（前年度比99.6%）となった。

脱脂粉乳の市況も、需給の緩和を背景として、年度を通じて穏やかな低下傾向で推移し、年度末においては13,062円/25kg（同98.5%）となった（図7、図8参照）。

図7 バター市況の推移



注：価格は、消費税込みの価格である。以下同じ。

図8 脱脂粉乳市況の推移

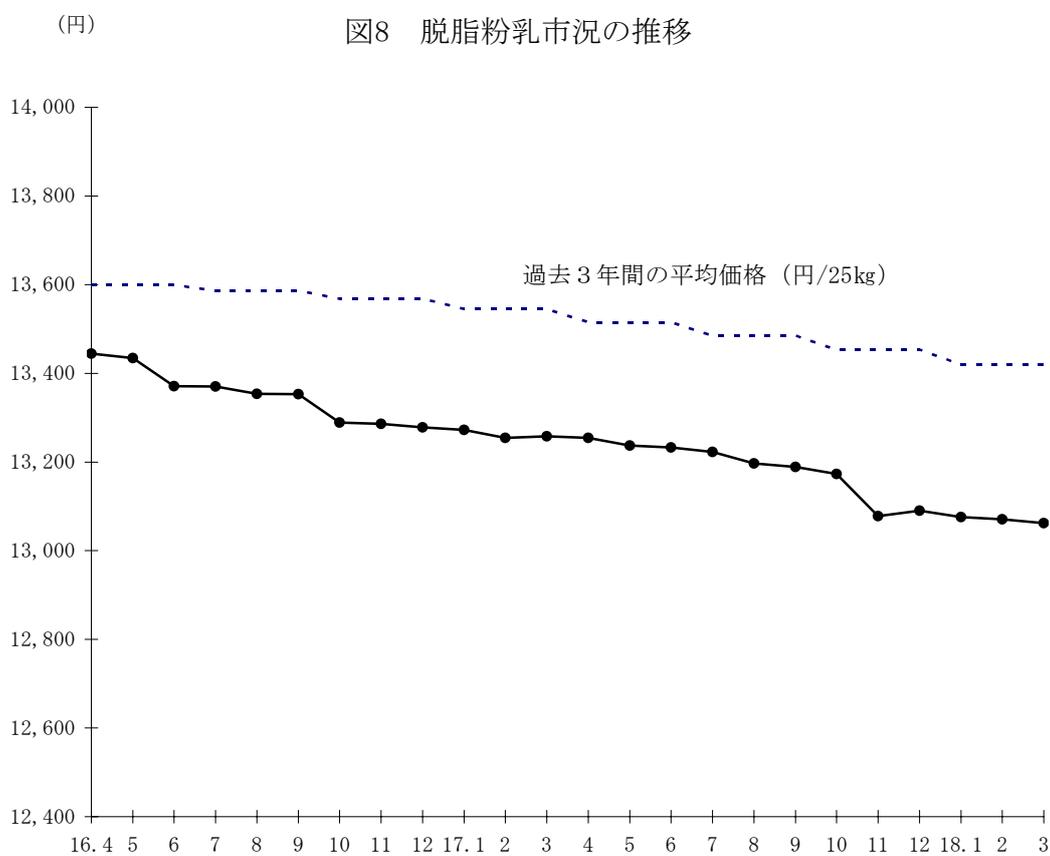
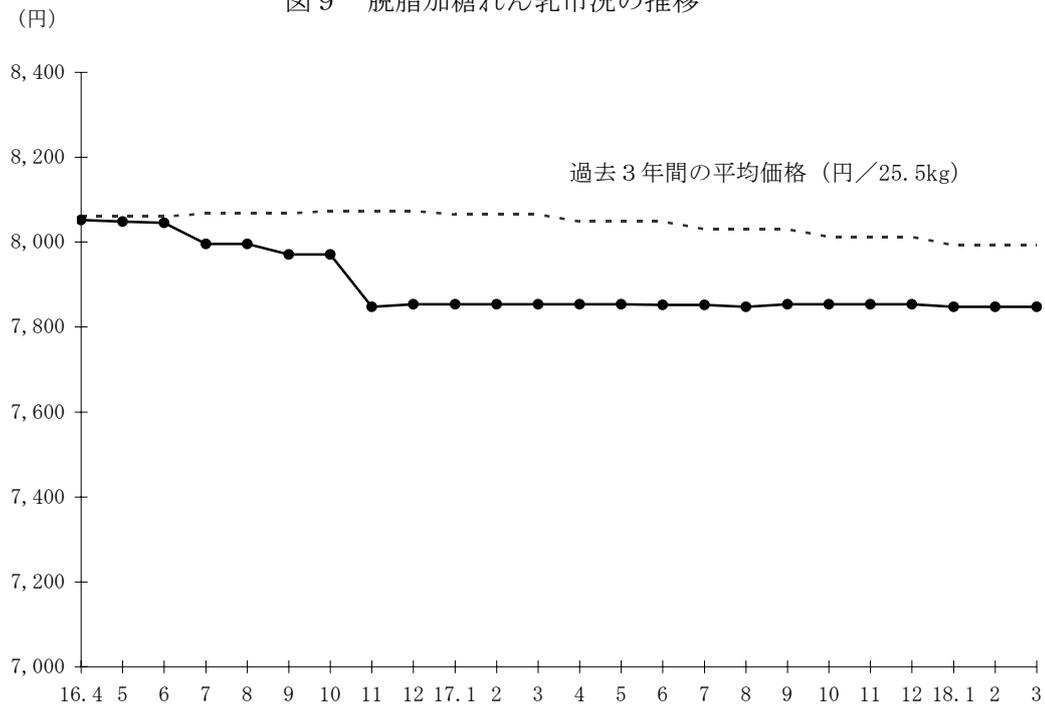


図9 脱脂加糖れん乳市況の推移



(2) 指定乳製品等の輸入及び売渡し

16年度のカレントアクセス分として、17年3月に輸入入札したバターを、同年7月から11月にかけて売り渡した。

17年度のカレントアクセス分として、17年11月に輸入入札したバターを、18年2月から3月にかけて売り渡した。

なお、18年2月及び3月に輸入入札したバター及び脱脂粉乳の売渡しは18年度にずれ込んだ。(第8表～第10表参照)

脱脂粉乳・バター以外のカレントアクセス分については、同時契約による輸入業務委託・売渡入札方式(SBS)によりホエイ及び調製ホエイ6,685トン、デイリースプレッド1,762トンの輸入業務委託・売渡契約を締結したが、このうち、ホエイ及び調製ホエイ2,185トンとデイリースプレッド全量の売買が18年度にずれ込んだ。(第11表～第12表参照)

また、機構以外の者に係る指定乳製品等の輸入(TEによる輸入)については、買入れ・売戻し件数は460件で、その数量は310トンとなった。

第 8 表 指定乳製品等の輸入入札状況

入札年月日	品目	輸入入札数量	落札数量	検収数量	備考
17.03.03	バター	3,820 トン	3,820 トン	3,652 トン	16 年度カルトアクセス分
17.11.22	バター	5,000 トン	780 トン	771 トン	17 年度カルトアクセス分
18.02.22	バター	3,500 トン	2,371 トン	—	同上
18.02.23	脱脂粉乳	3,000 トン	3,000 トン	—	同上
18.03.16	バター	3,500 トン	3,400 トン	—	同上
18.03.16	脱脂粉乳	1,000 トン	1,000 トン	—	同上

第 9 表 指定乳製品等の売渡入札状況

入札年月日	品目	売渡入札数量	落札数量	備考
17.07.14	バター	156 トン	156 トン	16 年度カルトアクセス分
17.08.10	バター	959 トン	356 トン	同上
17.09.07	バター	2,265 トン	2,265 トン	同上
17.10.20	バター	161 トン	161 トン	同上
17.11.08	バター	714 トン	714 トン	同上
18.02.09	バター	199 トン	199 トン	17 年度カルトアクセス分
18.03.14	バター	572 トン	572 トン	同上

第 10 表 バター・脱脂粉乳の売買状況

品目	期首在庫	買入数量	売渡数量	期末在庫
バター	0 トン	4,422 トン	4,422 トン	0 トン

第 11 表 ホエイ及び調製ホエイ（SBS方式）の売買状況

入札年月日	入札数量	落札数量	売買数量	備考
17.04.22	2,700 トン	2,700 トン	2,682 トン	17 年度カルトアクセス分
17.10.12	1,800 トン	1,800 トン	1,783 トン	同上
18.03.23	2,622 トン	2,185 トン	—	同上
計	7,122 トン	6,685 トン	4,465 トン	

第 12 表 デイリースプレッド（SBS方式）の売買状況

入札年月日	入札数量	落札数量	売買数量	備考
18.03.16	2,000 トン	1,520 トン	—	17 年度カルトアクセス分
18.03.30	242 トン	242 トン	—	同上
計	2,242 トン	1,762 トン	—	

2 指定食肉

(1) 牛肉

東京及び大阪の中央卸売市場における牛枝肉省令規格(去勢牛「B-2」及び「B-3」)の加重平均卸売価格は、15年度は、前年度が低水準であったことに加え、12月以降の米国産牛肉の輸入停止措置の影響もあり、前年度より11.5%上昇し、1,087円と安定上位価格を上回る水準に回復した。

16年度は、年間を通じた米国産牛肉の輸入停止の影響もあり、前年度より15.5%上昇した。

17年度も引き続き堅調に推移し、前年度より6.4%上昇し、1,336円となり、年度を通じて安定基準価格を上回って推移したことから、機構による買入れ等の措置には至らなかった。

第13表 牛枝肉卸売価格の推移

区分 年度・月	省令価格(去勢牛肉「B-3」及び「B-2」) 東京・大阪加重平均	
	価格 (円/kg)	対前年比 (%)
平成13年度	758	67.0
14	975	128.6
15	1,087	111.5
16	1,256	115.5
17	1,336	106.4
17年4月	1,358	106.3
5月	1,318	107.3
6月	1,247	104.4
7月	1,299	104.5
8月	1,290	105.0
9月	1,352	108.9
10月	1,325	108.0
11月	1,343	110.3
12月	1,434	106.3
18年1月	1,347	107.1
2月	1,307	100.1
3月	1,373	105.5

資料：農林水産省「食肉流通統計」

注：消費税込みの価格である。

(2) 豚肉

東京及び大阪の中央卸売市場における豚枝肉省令規格(「上」以上)の加重平均卸売価格は、15年度は、7月下旬以降、冷夏に加え、国内生産量が増加したこと等により軟調に推移した。その後、11月25日から実施した機構による調整保管(畜産業振興事業・豚肉価格安定緊急対策事業)及び12月からの米国産牛肉の輸入停止措置の影響等により、12月以降は前年同期を上回って推移したものの、15年度通年の平均価格は前年度より5.8%低下した。

16年度は、米国産牛肉の輸入停止措置の影響等により堅調に推移し、前年度より7.2%上昇した。

17年度は、前年度より0.2%低下し473円となり、年度を通じて安定基準価格を上回って推移したことから、機構による買入れ等の措置には至らなかった。

なお、道府県単位で肉豚の価格差補てんを行う地域肉豚生産安定基金造成事業(畜産業振興事業)では、17年度において17道県で価格差補てんが発動された。

第 14 表 豚枝肉卸売価格の推移

区分 年度・月	省令規格 東京・大阪加重平均	
	価 格 (円/k g)	対前年比 (%)
平成13年度	499	113.7
14	469	94.0
15	442	94.2
16	474	107.2
17	473	99.8
17年4月	434	90.2
5月	525	115.9
6月	529	101.3
7月	532	96.4
8月	498	93.3
9月	511	101.4
10月	419	102.9
11月	405	107.7
12月	499	103.5
18年1月	447	102.1
2月	454	94.6
3月	433	89.1

資料：農林水産省「食肉流通統計」

注：消費税込みの価格である。

3 鶏卵

鶏卵の平均卸売価格（東京、M規格）は、15年度は年度当初からの需給失調により前年度水準を下回って推移し、さらに16年1月以降は我が国での鳥インフルエンザ発生による消費減退により一層低下したことから、前年度より18.6%値下がりした。

16年度は、前年度の卸売価格が記録的に低水準で推移したことや高病原性鳥インフルエンザ発生による鶏卵の消費者離れが懸念されたことから、生産者の主体的判断に基づく生産抑制が進み、前年度より46.4%値上がりした。

17年度は、国内生産量及び輸入量が増加傾向にあったことから、前年度より4.6%値下がりした。17年度において、機構による調整保管等の措置には至らなかった。

なお、(社)全国鶏卵価格安定基金及び(社)全日本卵価安定基金による価格差補てん事業では、17年度は7月、8月、18年1月に標準取引価格が補てん基準価格を下回り、両基金から総額29億2,100万円の補てん金が事業参加生産者に交付された。

第 15 表 鶏卵価格の推移（東京、M規格）

区分 月	卸売価格				鶏卵価格安定制度の発動状況			
	16年度		17年度		16年度		17年度	
	東京「M」 (円/kg)	対前年比 (%)	東京「M」 (円/kg)	対前年比 (%)	標準取引価格 (円/kg)	補てん単価 (円/kg)	標準取引価格 (円/kg)	補てん単価 (円/kg)
4月	144	89.4	239	166.0	141.83	0	223.77	0
5月	171	118.8	222	129.8	165.61	0	212.67	0
6月	178	135.9	193	108.4	174.45	0	188.22	0
7月	147	122.5	156	106.1	152.79	5	160.33	2
8月	149	117.3	145	97.3	165.30	0	157.39	5
9月	196	124.8	175	89.3	197.68	0	181.78	0
10月	204	129.1	190	93.1	199.48	0	186.81	0
11月	256	154.2	189	73.8	246.58	0	181.61	0
12月	272	174.4	199	73.2	257.81	0	190.07	0
1月	206	216.8	155	75.2	190.33	0	142.03	18
2月	272	214.2	190	69.9	259.13	0	181.34	0
3月	267	200.8	181	67.8	252.28	0	169.85	0
平均	205	146.4	186	90.7	4～6月142 7～1月159	—	163	—

資料：全農「畜産販売部情報」

注1：卸売価格は消費税を含まない。

注2：鶏卵価格安定制度の平均欄は補てん基準価格